

豊川海軍工廠と豊川稲荷

～史料の中に見る鎮魂の様子～

豊川海軍工廠開廠後、豊川には多くの人々が集まり、豊川稲荷(豊川閣妙厳寺)の門前町は工廠に関わる人々の生活の場としても機能していきます。その後、戦況が悪化すると、戦争で亡くなった人々の葬儀も営まれました。

豊川稲荷では、昭和20年8月7日の空襲における犠牲者の供養が行われ、戦後も鎮魂の場としての役割を深めていきます。

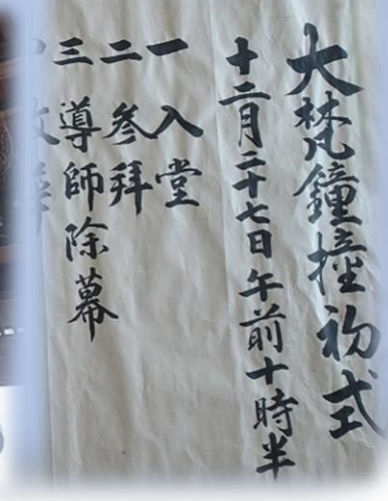
本企画展では、豊川稲荷で行われていた慰霊行事等の記録から、当時の鎮魂の様子を見ていきます。



供養塔(豊川稲荷西側)



梵鐘(境内鐘楼堂)



大梵鐘撞初式次第(豊川稲荷蔵)

◆期間:令和8年(2026年)

11月1日(日)～11月29日(日)

◆会場 豊川市平和交流館(豊川海軍工廠平和公園内)ロビー

〒442-0061 豊川市穂ノ原三丁目13-2

◆費用 無料

主催 豊川市教育委員会生涯学習課